

女性に寄り添うつながりサポート支援事業【東大阪市】

総事業費	2,383 千円
交付金額	1,787 千円

地域の実情と課題

東大阪市男女共同参画に関する市民意識調査(H30)において、男女共同参画センター・イコーラムの「女性のための相談」を知っている人の割合は23.2%であった。また、相談件数はコロナ禍においても大きな変化が見られなかったことから、女性が気軽につどい語り合える、相談できる場がイコーラムにあるということを周知活用する課題がある。

目的・目標

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、孤独・孤立して不安を抱える女性のための居場所づくりと各種相談につなげる取組を実施する。

○ゆるサポルーム・おしゃべりルームの利用者数
【目標】200人⇒【結果】270人

事業の特徴

- コロナ禍において自宅での時間が増え、心身ともに疲れた女性のために、リラックスして過ごし、社会との絆・つながりを回復できる居場所づくりを行う。
- 女性相談員が常駐し生活支援、女性相談、弁護士相談、労働相談等の情報提供を行い、相談事業につなぐサポートを行う。
- キャリアカウンセリングを実施する他、若い世代に向けた講座を開催する。

連携団体

- 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
(東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムの指定管理者)
- ・有限会社フェミニストカウンセリング堺

事業の効果

- (1)利用者数 270人(11日間)
- (2)アンケート回答者数 208人
(初回利用129人、2回目以降の利用79人)
- (3)満足度 大変満足から満足と答えた方
95.3%(初回利用)
97.5%(2回目以降の利用)

今後の課題

- 昨年度は決まった曜日の開催であったため、今年度は連続の開催とし11日間実施したが、1日の利用者数の平均は前回と変わらなかった。特に、週末は利用者が減少したため、アンケート結果から、開催方法を検討し、今後も居場所の提供に努めながら、相談事業などのニーズに応じた事業の実施が必要である。
- より多くの人に参加してもらうため、チラシ配布やSNS等を活用し、事業の周知を行うとともに、男女共同参画センター自体の周知についても取組を行っていく必要がある。

事業の概要

<ゆるサポルーム><おしゃべりルーム>

日程: 令和4年11月16日(水)から11月27日(日)※11月21日(月)休館

時間: 10:00~17:00

対象: 女性 予約: 不要 利用料: 無料 一時保育無料: 事前申込制

<キャリアカウンセリング>

日程: 11月25日(金)、11月26日(土) 時間: 10:00~17:00

対象: 女性 予約: 不要(当日先着順)

【内容】

○居心地のよい空間となるよう設え、音楽を聴いたり、本を読んだり、リラックスしながら自由に過ごしてもらおう。

○女性相談員が常駐し寄り添って話を聞きながら、各種情報提供を行い相談事業につなぐサポートをするとともに、「おしゃべりルーム」では、相談員が短時間の話相手になり、専門の相談が必要な人には相談先を伝え、次につなぐサポートを行う。

○困難や不安を抱える女性への寄り添った支援の一環として、生理用品等の生活必需品の提供を行う。

○情報コーナー、パステルアートコーナー、メイクアップコーナー、風呂敷コーナー、BOOKコーナー等設置。

○相談事業の一環として、もう一歩踏み出せそうな方にはキャリアカウンセリング(個別相談)を実施する。



<写真展>

日程: 令和4年11月12日(土)から11月27日(日)

※11月14日(月)、21日(月)休館 時間: 9:00~21:00

【内容】

女性フォトグラファーの撮影するベビーフォトのギャラリー展示を行い、いのちの大切さを伝え、DVや虐待防止の啓発を行う。

<モノづくり講座>

・せっけんデコパージュ 日時: 11/19(土) 10:00~17:00

対象: 30歳以下の女性

・ハーバリウムづくり 日時: 11/23(祝・水) 14:00~16:00

対象: 子育て中の女性

